

山 口 生 企 第 6 5 6 号

平成30年(2018年) 8 月30日

山 口 県 健 康 福 祉 部 長 様

山口県警察本部

生活安全部長 阿 部 勝 美



医療機関における防犯対策について（依頼）

過日、山口県内の病院において、未使用の点滴液に界面活性剤が混入されるという事案が発生し、また神奈川県横浜市の病院において発生した、点滴袋への消毒液の混入による殺人事件では、元看護師が逮捕されるなど社会の耳目を大きく集めています。

病院を始めとする医療機関における防犯対策については、厚生労働省医政局総務課長通知「「医療機関における安全管理体制について（院内で発生する乳児連れ去りや盗難等の被害及び職員への暴力被害への取り組みに関して）」について」（平成18年 9 月25日付け医政総発第0925001号）及び厚生労働省医政局総務課長通知「医療機関における患者等の安全の確保について」（平成28年 7 月26日付け医政総発0726第 2 号）（以下「厚生労働省通知」という。）に基づいて推進しておられることと存じておりますが、厚生労働省通知に基づいた各種の対策が講じられますよう、今一度、県下の医療機関に対する注意喚起をお願いいたします。

特に、厚生労働省通知で示されている防犯カメラの導入は、平素からの防犯対策として、極めて犯罪抑止効果が高いものと考えておりますので、併せて県下医療機関への周知をお願いいたします。

本 件 担 当

山口県警察本部

生活安全部生活安全企画課

安全・安心対策官 筒 井

安全・安心対策担当 原 田